

第21回総務企画専門委員会 議事録（概要）

1 日時

令和6年(2024年)7月18日(木) 10:00~10:55

2 場所

滋賀県大津合同庁舎7階 7-A会議室

3 出席委員（五十音順、敬称略）

明石 芳夫 委員、大森 文子 委員、門 久仁裕 委員長
雲根 ひとみ 委員(WEB)、小嶋 栄子 委員、高木 和彦 委員
中西 功 委員、西島 義典 委員、松永 敬子 委員(WEB)、山本 博一 委員
(委員定数15名中10名出席)
(欠席委員：赤尾 優文 委員、石河 康久 委員、太田 千恵子委員、
千代 良明委員、廣瀬 年昭 委員)

4 会議概要

【報告事項】

(1) 開催準備に係る令和6年度の主な取組、開催基本構想の進捗状況

<委員>

先日のラグビーフットボールのリハーサル大会において実施されたNTTと連携した実証実験はどのようなものであったか。

<事務局>

AIカメラが人やボールの動きに応じて映像を撮影し、それをライブおよび録画により配信したもの。国スポ競技については、時事通信社の「国スポチャンネル」にて競技の様態を配信することとなっているが、実証実験の結果も踏まえて、AIカメラの活用についても検討してまいりたい。

<委員>

説明にあった託児費用の助成についてはとても素晴らしい取り組みだと思う。選手側だけでなく、観戦に来られる方のサポートも重要と考えるが、仮設の授乳室などの検討状況は。参考までに鹿児島島のバレーボール競技では簡易授乳室を設置されていた。

<事務局>

市町の検討状況をすべて把握しているわけではないが、オムツ交換所や授乳室などを設置される場所もあると聞いている。また、県においても国スポ・障スポの競技会場に授乳室等の設置を検討しているところ。

<委員>

国スポ・障スポをきっかけとして、レガシーとして残るようお願いする。また、子ども・若者に向けた取組の検討状況は。

<事務局>

小中学生の競技観戦について、市町と連携して検討しているところであり、ほとんどの市町において実施を予定していると聞いている。中高生においては、競技の補助員として携わっていただくため、活躍を期待しているところ。また、大学・専門学校の学生はサポートスタッフとして、障害のある方のサポートをしていただく。若者がいなければ大会は成り立たないと考えており、一緒に盛り上げてまいりたい。

<委員>

ボランティアの募集について、市町はどのようにされているのか。老人クラブなど団体の方からは、「前回の国体は協力をお願いなどがあったが、今回はない。」とのこと伺っている。

<事務局>

市町の正確な募集状況は把握できていない。県としては、県分のボランティアの募集と市町分のボランティアの募集をあわせて行っており、それに加えて市町が募集を行っている。同様の話を女性団体からも伺っており、市町に情報提供を行っているところ。今回のお話も共有させていただく。また、企業からの申し込みが多いと聞いており、今後、企業向けにアンケートも実施する予定。

<委員>

スポーツ課として、国スポ・障スポも含めて何か連携できないか企業を訪問しているが、両大会が盛り上がっていないとの声も聞く。県として、企業をサポートできる体制が必要と考える。先日も数万人規模の会社の協力をお断りせざる得ないことがあった。(意見)

<委員>

企業スポーツ振興協議会に携わっているが、同会としても国スポ・障スポを盛り上げていこうと、企業に協力を依頼しているところ。

(2) わた SHIGA 輝く国スポ・障スポ MLGs 宣言の取り組みについて
質疑および意見なし

(3) わた SHIGA 輝く国スポ 正式競技競技会場名の変更について
質疑および意見なし

(4) わた SHIGA 輝く国スポ デモンストレーションスポーツ主管団体名の変更について
質疑および意見なし

【審議事項】

(1) わた SHIGA 輝く国スポ 入場料金 (案)
案のとおり承認された

(2) わた SHIGA 輝く国スポ デモンストレーションスポーツ競技会場の変更 (案)
案のとおり承認された

【審議事項および報告事項以外の関連質問・意見】

<委員>

学校現場から述べさせていただくと、補助員としての生徒の必要人数は提供いただいているが、それに対し、競技役員等で出役する教員の数は報告いただけておらず、大会期間中の授業に不安を覚えている。教員の必要数についても早めに連絡がいただきたい。

<事務局>

そちらに関するお声はいただいており、心配をおかけして申し訳ない。また、人事異動があることについても頭を悩ませているところ。必要となる教員数等については、競技団体がまとめており、早めに提供できるようにしたい。

以 上